

なごや蓄音機クラブ レポート



NO.3

2018.7.

発行：浮世絵&蓄音機『香津原』 名古屋市昭和区山里町 70-2 山手アベニュー107 Tel. 090-3855-1200

6月例会「ジャズ特集」報告

●第1部：「黒澤映画と歌謡曲」Part 2 解説：勝原良太氏

今回は「野良犬」で使用された歌謡曲（映画公開当時のヒットソング）を6曲。前回同様、勝原氏の熱のこもった解説に脱帽。特に「夜来香」のエピソード（李香蘭で吹き込み、戦後山口淑子の名前で再録音）や、笠置シズ子の「センチメンタル・ダイナ」（昭和15年）は戦後のブギウギものより優れているという指摘は、聴いてみると「成る程」と思わせるものでした。

黒澤明が映画音楽として、その頃（「野良犬」は昭和24年）の流行歌を使ったことは、当時の世相を反映させるためでもあったでしょうが、その時代の流行歌が持つ音楽性の高さを黒澤は認識していたと言えます。今回、改めて聴いてみる機会が得られたことは幸いでした。

1. 雨の薔薇（昭和23年）唄：近江俊郎
2. 夜来香（昭和25年）唄：山口淑子
3. 東京ブギウギ（昭和23年）唄：笠置シズ子
4. センチメンタル・ダイナ（昭和15年）唄：笠置シズ子
5. 恋の曼殊沙華（昭和23年）唄：二葉あき子
6. さよならルンバ（昭和23年）唄：二葉あき子 （SPレコード協力：岩田国保氏）

●第2部：「ジャズ・スタンダードの名演」 解説：井上雅紀氏

*お詫び…コンサート中、我らが誇る蓄音機 E.M.G. MarkⅨが機嫌を損ね、音にビビりが出てしまいました。修正を試みましたがうまくいかず、急遽予備の HMV-113 に変更。参加された皆様には大変ご迷惑をおかけしました。ここに謹んでお詫び申し上げます。しかし、蓄音機にはこのようなことが起こるのです。特に E.M.G. MarkⅨは本当にデリケートで、事前に調整しておいても突然変調をきたすことがあるのです。ご了承のほど、よろしく願いいたします。

1. フレネシー/アーティ・ショー楽団
2. あなたのそばに/(歌) ジョニー・ジェイムズ
3. スティル・リーピング/レスター・ヤング
4. わが心に歌えば/(歌) ドリス・テイ
5. ファイン・アンド・メロウ/(歌) ビリー・ホリデイ
6. パーカーズ・ムード/チャーリー・パーカー
7. スターダスト(Part1~4) /ライオネル・ハンプトン
8. スターダスト/(歌) ナット・キング・コール

ジャズの名演奏集に「ブルース」の解説を含めた盛沢山の内容でした。本来の「ブルース」の意味と特徴の「お勉強コーナー」を途中で挟んだのが新しい試みでしたが、参加者にどこまで納得していただいたかは不明です。もう一つの試みは L・ハンプトンの「スターダスト」（約15分）を SP2枚で全曲お聞かせするというもの。いくら歴史的な演奏と言っても SP を裏返す間は途切れるので、興味をそがれるのは否定できませんでした。最後に極めつけの名唱 ナット・キング・コールを持ってきましたが…。課題を残す内容だったと言えるでしょう。

今後の為に、参加された皆様の忌憚のないご意見を伺いたいと思っています。

※「ブルース」に関する資料は別に掲載します。

7月の「香津原」イベントのお知らせ

1. 7月21日（土）「故・寺田太作氏を偲ぶ」～ロシータ・キロガ特集～

かつて寺田太作（たいさく）さんという、タンゴ筋に生きた方がおられました。尋常高等小学校を出て床屋さんに奉公した時、ラジオから聞こえてきたタンゴに目覚め、以来タンゴが生涯の友となった方でした。そのSPレコードに賭けた執念は「盤鬼（ばんき）」と呼ばれたほどで、他の追隨を許さないものでした。（サロンでは様々な逸話を紹介します）その一途な生き方に深く共感する私ですが、同氏を敬愛する気持ちから7月21日（寺田さんの命日）に、追悼の意味でタンゴのサロン・コンサートを催すことといたしました。このサロンの趣旨に賛同される方はぜひご参加ください。当日のプログラムは、寺田さんが最も好んだロシータ・キロガを中心に構成されます。（文責：勝原良太）

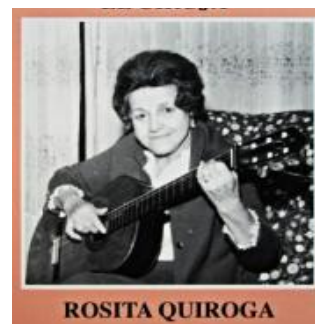
・タイムテーブル

4時開演…寺田太作アラカルト（語り手：勝原良太氏）

5時～6時…ロシータ・キロガ特集（語り手：吉岡達郎氏「ロシータ・キロガ10曲選」）

6時～6時30分…懇談

・会費：1,500円　・参加ご希望の方は、090-3855-1200（勝原）まで〔予約優先〕



2. 7月28日（土）「アメリカン・ポップスの魅力」 解説：猪飼俊彦氏

戦後のアメリカン・ポップスと言ったら猪飼俊彦氏と言われるくらい。ご幼少のころからラジオから流れてくる洋楽に魅了され、ラジオ放送の「S盤アワー」に聞き惚れたといひます。司会の帆足まり子さんには特別の思いを抱いてみえます。今回は、当時のヒットソングに加え、何と「オーキャロル」のアンサーソングまで用意されています。乞うご期待！

1. 聖者の行進/ルイ・アームストログ
2. 知りたくないの/レスポール&メリーフォード
3. リトルダーリン/ザダイヤモンドズ
4. ウィルユーウィリアム/ジャニス・マーチン
5. 冷たくしないで/エルビス・プレスリー
6. ビバップ アルーラ/ジーン・ビンセント
7. ヤングラブ/ソニー・ジェームス
8. 電話でキッス/ポールアンカ
9. センチメンタルジャーニー/ドリスデイ
10. オーキャロル/ニールセダカ
11. オーニール/キャロルキング（EP盤）

・会費：1,500円　・使用蓄音機 E. M. G. Mark IX（マーク・ナイン）

・参加ご希望の方は、090-3855-1200（勝原）まで〔予約優先〕

